

Business Suite Client Security/Server Security バージョンアップについて

当記事では BusinessSuite Windows クライアント Client Security (CS) /Server Security (SS) のバージョンアップ方法について解説させていただきます。

作業は主に下記の 3 点となります。

1. 既存製品の設定バックアップ
2. 新バージョン JAR インポート
3. 個別インストール/一斉配布

1. 既存製品の設定のバックアップについて

Windows クライアント端末 (CS/SS) はバージョンアップ時に既存設定を保持します。その為、バージョンアップインストールを実施するだけで作業は完了します。[\(注意事項\)](#)

クライアント端末は PolicyManagerServer (PMS) で集中管理され、PMS 内の設定ポリシーを読み込んで動作している事を想定しています。その為、バージョンアップ時に何らかの異常があり、再インストール等を実施した場合も、設定ポリシーを再度読み込みなおす事で以前の設定を再現させる事が可能です。“PMS が存在しない環境(スタンドアロン)”や“クライアント端末で個別に設定を実施している”場合、クライアント側設定値をメモする等の事前作業が必要です。(主にスキャン除外設定)

PMS が存在しない場合、PMS にインストールが必要となります。PMS インストールガイドを参照し、インストールをお願いします。

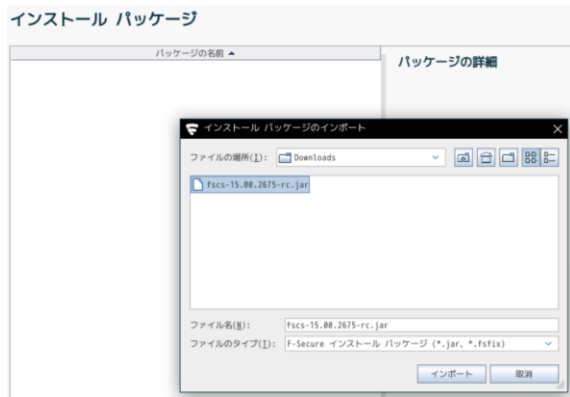
https://images.secure.f-secure.com/Web/FSecure/%7Bac61657e-166c-4cd1-b348-cd0fea42ba8e%7D_F-Secure_Policy_Manager_for_Windows_15_Install_Guide.pdf

2. 新バージョン JAR インポート

PolicyManagerServer (PMS) に新バージョンの CS/SS 用 JAR ファイルをインポートします。

「クライアントセキュリティ 15 構築ガイド」を参照し、JAR のダウンロードとインポートを実施します。

[https://images.secure.f-secure.com/Web/FSecure/%7B30884821-c571-48cb-9d23-25773363fdd4%7D_F-Secure_Client_Security_\(Standard_and_Premium\)_15_Install_Guide.pdf](https://images.secure.f-secure.com/Web/FSecure/%7B30884821-c571-48cb-9d23-25773363fdd4%7D_F-Secure_Client_Security_(Standard_and_Premium)_15_Install_Guide.pdf)



3. 個別インストール/一斉配布

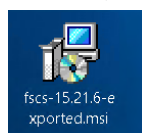
バージョンアップインストールには、A. MSI インストーラを作成し端末で実行する手法と、B. JAR ファイルをポリシーベースで配布する手法があります。

A. JAR ファイルから MSI インストーラーファイルを作成する

- I. 「クライアントセキュリティ 15 構築ガイド」を参考に MSI インストーラファイルを作成(エクスポート)します。



- II. MSI ファイルをクライアント端末で実行します。※要管理者権限



B. JAR ファイルを「ポリシーベース インストール」で配布する

「ポリシーベース インストール」

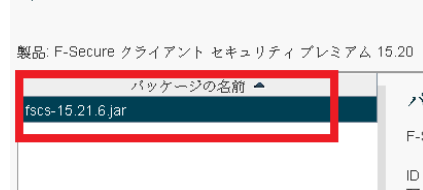
https://help.f-secure.com/product.html#business/policy-manager/15.20/ja/task_59E41CAA430547F69C8241F89838425E-15.20-ja

- I. 「クライアントセキュリティ 15 構築ガイド」を参考に、JAR ファイルをダウンロード/インポートします。

- II. ドメイン/ホストを選択して「アップグレード」をクリック



- III. アップグレードしたいバージョンの JAR ファイルを選択
インストール パッケージ



- IV. リモートインストールウィザードが開始します。



※ウィザードの手順は「クライアントセキュリティ 15 構築ガイド」を参照ください。

- V. ウィザード完了後、ポリシーベースインストールが準備されます。

ポリシーベース インストール		
#	処理	ステータス
1	ホスト "SeinoCC-Win10" で、F-Secure クライアント セ...	ポリシーの配布後に開始されます

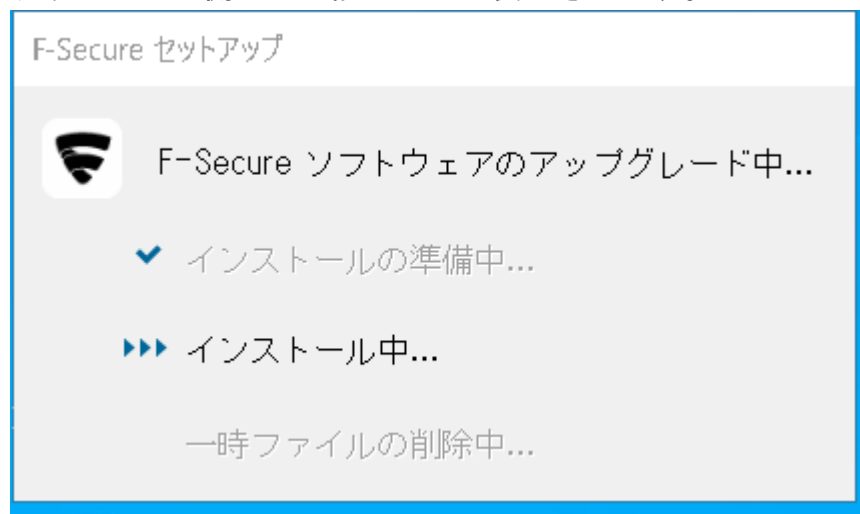
- VI. ポリシーを配布するとポリシーベースインストールが開始されます。



VII. バージョンアップインストールの進行状況が確認できます。



VIII. クライアント側には下記の GUI が表示されます。



IX. 完了するとステータスが完了に変わります。

ポリシーベース インストール

#	処理	ステータス
1	ホスト "SeinoCC-Win10" で、F-Secure クラ...	正常に完了しました

注意点

Firewall について

CS/SS ver14 と ver15 には Firewall 機能が搭載されておらず、Windows Firewall 機能をコントロールする機能が搭載されております。この機能はデフォルトで有効の為、Server Security (SS) 14/15 のインストールを実施した段階で Windows Firewall が有効化されます。旧製品で Firewall 機能を利用していなかった場合、Policy Manager ポリシー内での無効化か、インストールを完了後の製品 GUI での無効化を行ってください。Firewall 機能を利用される場合、下記ナレッジで紹介させて頂いている「Windows Firewall 機能と Fsecure Firewall との違い」をご参照いただき、Windows Firewall を設定してください。

ClientSecurity/ ServerSecurity(Protection) 14 以降 のファイアウォール機能について

<https://community.f-secure.com/ja/kb/articles/3188>

再起動について

バージョンアップの際に、再起動を求められる場合がございます。その場合、再起動完了までセキュリティの低下の可能性がある為、お手数ですがクライアントの再起動が可能なタイミングでのバージョンアップ実施をお願いします。

バージョンアップ失敗時の切り戻しについて

バージョンアップの際に何らかの異常が発生した場合、CS/SS は再インストールが必要となります。再インストールの際の設定については、Policy Manager (PM)からのポリシー再読み込みで対応してください。PM 自体のバージョンアップが失敗した場合、下記の手順に記載されているバックアップデータからの復帰が可能です。

Policy Manager Windows の場合

<https://www.f-secure.com/content/dam/f-secure/ja/business/support-resources/windows/pm-cs-guide-1.4.0.pdf>

※” バックアップ/リストア対象ファイル” を参照

Policy Manager Linux の場合

https://help.f-secure.com/product.html#business/policy-manager/15.20/ja/task_F3496EC8C79842E1B5A479E8D195E8A5-15.20-ja